

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

CTSは必要な費用をJRに要求せよ

新賃金で団体交渉 事業所間格差は早急に対応を

勤労千葉は4月4日、4月1日以降の新賃金についてJR千葉鉄道サービス（CTS）と団体交渉を行いました。組合から要求の趣旨説明、会社が16年度の決算予測の説明を行いました。

CTSの16年度の営業収益は36億4300万円（前年比2億2700万円減）、営業費用が35億8600万円（同1億4200万円減）で、営業利益は5600万円（対前年比8500万円の減）とのことでした。

1年で3分の1が辞める職場

組合からは「毎年、決算予想を見せられ『余裕がないから上げられない』と言われても納得いかない。毎年3分の1の人が辞めている。働き続けられない現状をどう思っているのか」「どうやって賃金を決めているのか。毎年ギリギリの決算を出し『金がないから出せない』ではすまされない。『清掃の仕事にはこれだけ

新賃金要求（概要）

- ・基準内賃金を38000円引上げ。職務給に重点的に配分
- ・契約・社員について月給制に戻すこと
- ・契約・パートは、時給換算で1500円への引き上げ
- ・住宅手当の新設。契約・パートへの扶養手当の支払い
- ・契約・パートの夏季手当・年末手当を社員と同基準で支払え
- ・深夜早朝手当の事業所間格差の解消。一律1500円の支給
- ・ポリッシャー手当等、昨年10月に廃止した作業手当の復活

の費用が掛かる』『これだけの金額を出さないと現場はもたない』とJRに突き付けていくしかないのではないか」と追及しました。

会社は「昨年10月には契約・パートを、今年4月には社員の賃金を改善した」と回答しましたが、最低賃金の引き上げや新卒プロパー社員のため、最低賃金の引き上げや新卒プロパー社員のため、金額的にも問題にならないレベルです。

組合からは、社員は3万8000円引き上げ、契約・パートは一律時給1500円への引き上げを強く求め、さらに契約社員については月額給に戻すように求めました。

また、深夜早朝手当の事業所間格差はあまりに理不尽な格差であり、早急に対応するよう強く要求しました。

同じ仕事をしているのに

最後に、参加した組合員が「アンケートで『生活費が足りない』と答えた人が90%以上。この数字を少しでも減らしてほしい。ボーナスについても、同じ仕事でなぜここまで違うのか。社員は何十万円も出るのに契約社員や微々たるもの。ここも改善してほしい』と訴えました。

最後に、参加した組合員が「アンケートで『生活費が足りない』と答えた人が90%以上。この数字を少しでも減らしてほしい。ボーナスについても、同じ仕事でなぜここまで違うのか。社員は何十万円も出るのに契約社員や微々たるもの。ここも改善してほしい』と訴えました。